

# 心身医学講習会 「心身症患者の心身相関をどう評価するか」

会 期：6月27日（土）14：00～16：00  
会 場：タワーホール船堀 E会場 2F 福寿

座長

末松 弘行（名古屋学芸大学名誉教授）

## 【趣旨・ねらい】

この総会のメインテーマは「新しい時代に求められる心身医学とは」ですが、本講習会のテーマは「心身症患者の心身相関をどう評価するか」で、いつの時代でも、これは患者の理解から診断・治療に繋がる心身医学の重要なテーマです。

その心身相関の評価を、小塩先生は「質問紙法による調査・検査」から、斎藤先生は「ナラティブ（NBM）アプローチ」から、そして、野添先生は「行動論の立場」から、それぞれのテーマで、その詳細をその利点・欠点とか、その特徴とか、あるいは症例を通じて、話していただきます。

日本心身医学会専門医資格申請ならびに更新のための研修単位10単位が取得可能な講習会ですが、心理士や看護師などメディカルスタッフにとっても必要なテーマですので、参加を歓迎します。

## 【プログラム】

あいさつ 教育研修委員会副委員長 吉原 一文（九州大学大学院医学研究院心身医学）

講義

1. 質問紙法による調査・検査とは何か  
小塩 真司（早稲田大学文学学術院）
2. NBM から見た心身相関  
斎藤 清二（立命館大学応用人間科学研究科）
3. 心身症患者の心身相関をどう評価するか—行動論の立場から—  
—心理社会的背景の聴き方—  
野添 新一（志學館大学/鹿児島大学名誉教授）

## 【参加方法・他】

- 受講料：5,000円
- 定員：150名（当日先着順）※定員になり次第、締め切りとさせていただきます
- 受付時間：6月27日（土）13：30～14：00
- 受付場所：タワーホール船堀 2F 福寿（E会場）前
- 認定単位：日本心身医学会専門医認定更新のための10単位が得られます  
講習会終了時に「受講証明書」を発行いたします。  
※途中入場・退出の場合、「受講証明書」は発行できません。